

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【396】
2. 日時：令和5年2月15日 13時30分～16時30分
3. 場所：原子力規制庁 9B会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

津金主任安全審査官、服部(靖)安全審査専門職、植木技術参与、  
山浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

藤原技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他13名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 設備技術室 担当 他2名※

## 5. 要旨

(1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書（原子炉圧力容器内部構造物の応力解析の方針、原子炉本体の基礎の地震応答計算書、火災防護設備の耐震計算の基本方針等）について、令和4年9月26日及び令和5年2月9日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【火災防護設備の耐震性に関する説明書の補足説明資料】

- ケーブルトレイ消火設備の消火配管（以下「消火配管」という。）の加振試験結果について、鉛直方向トレイの試験結果が水平方向トレイに適用できることを説明すること。
- 消火配管の加振試験について、実機の取付状態を模擬していることを実機の具体的な構造を踏まえて説明すること。
- 消火配管の水平左右、水平前後及び鉛直の各軸方向の共振点を20Hz以上と判断した根拠について、共振点探査試験の結果を用いて説明すること。

【燃料プール水位・温度（SA）の耐震性についての計算書】

- 燃料プール水位・温度（SA）の固有値解析について、架構及び保護管への付加質量のうち鉛直方向付加質量の計算方法を説明すること。

（3）中国電力株式会社から、了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

なし